

## 取扱上の注意



タウンガード

### 安全性

「急性経口毒性試験」(一財)日本食品分析センター 第16005638001-0101号

業務用

【用途】木製品、土壁、漆喰壁、紙等の保護

#### 【使用方法】

- ・用途以外には使用しないで下さい。
- ・御使用前に使用説明書をよくお読み下さい
- ・換気の良い所で御使用下さい。
- ・原液のまま御使用下さい。
- ・耐油性手袋・保護メガネ・有機溶剤保護マスクを着用のこと。
- ・塗布(刷毛・ローラ)、浸漬等でご使用下さい。スプレー使用の場合は防毒マスク・保護メガネ着用の事。
- ・塗布量 60~150g/m<sup>2</sup> (2回塗りで左記の量、材質に依ります) **塗りすぎに注意**して下さい。(変色することがあります)
- ・使用する際は予め目立たない部分で溶解、変色、色落ちなどの有無を確認してから御使用下さい。
- ・乾燥方法は自然乾燥で行えます。
- ・乾燥時間約24時間以上 気温・湿度等の環境によって異なります。
- ・2度塗りをして下さい。指触乾燥後、次の塗布を施工してください。
- ・外部作業の場合、24時間以内に降雨・降雪予報がある場合は作業を控えてください。
- ・室内でも湿度の高い場合はお控え下さい。(乾燥しにくく、べたつく場合があります)
- ・塗料をよく浸透させ、耐久性を向上させる為、乾燥時間を十分に取って下さい。
- ・加工後24時間以内は水などを掛けないでください。(効果が半減いたします)
- ・木材の樹種などにより吸い込み・乾燥が違います。
- ・使用期限：出荷後又は購入後1年以内、開封後3ヶ月以内を目安に使用して下さい。

#### 【取扱注意事項】

- ・労働安全衛生法による表示
- ・名称：合成樹脂塗料
- ・成分：含フッ素ポリマー・ナノチタンハイブリッド
- ・第4類危険物 第2石油類、危険等級III
- ◎危険有害性
  - ・引火性液体及び蒸気：飲み込むと有害。
- ◎予防策
  - ・熱/火花/裸火/高温のようなものは着火源から遠ざける事。禁煙。
  - ・容器を密閉しておく事。
  - ・容器を接地する事/アースを取る事。
  - ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する事。
  - ・火花を発生しない工具を使用する事。
  - ・この製品を使用する時に飲食、喫煙をしない事。
  - ・他の薬品、洗剤と併用したり混ぜたりしない事。
  - ・取扱後はよく手を洗う事。
  - ・耐油手袋/保護眼鏡/有機溶剤保護マスク/保護衣を着用する事。
- ◎応急処置
  - ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡する事。口をすすぐ事。
  - ・皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ事/取り除く事。皮膚を流水/シャワーで洗う事。
  - ・目に入った場合はコンタクトレンズを外し、直ちに流水で15分以上洗顔を、医師の手当てを受けて下さい、
  - ・医師へ受診の場合には製品を持参する。(場合によっては「安全データシート」を取り寄せて下さい。)
  - ・火災の場合：消火に粉末又は炭酸ガス又は泡を使用する事。
- ◎保管
  - ・直射日光、高温多湿を避け、40℃以上にならない所、換気の良い場所又は凍結する恐れのない場所に密封して保管して下さい。
  - ・幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- ◎廃棄
  - ・内容物・容器を国際/国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄する事。

#### 【その他】

- ・臭気等は24時間経過すれば未加工と同じ状態になります。
- ・素材の持つ匂いを変化させるものでも有りません。
- ・風合い等も同様変化させません。(濡れ色タイプもあります)
- (用途に応じて調配合されておりますので素材に効果のある塗料(薬剤)を御使用下さい)
- 尚、素材により配合が異なりますのでお申し付け頂ければ薬剤を調配合させていただきます。
- ・作業中、VOC(揮発性有機化合物)は発生いたしますが乾燥すれば無くなります。
- 但し、有害指定物質は配合されていません。
- ・本製品は性能改善の為、予告無く仕様を変更する事があります。
- ・このデータは弊社における信頼できるデータではありますが、使用条件などにより異なる事が有ります。御使用に際しては施工者に於いてご確認の上、御使用願います。
- ・取扱・御使用に当たっては、安全データシート(SDS)を必ずお読みいただき参考にして下さい。

開発・製造・販売

 Plascoat

〒613-0024 京都府久世郡久御山町森川端 91 番地 1

Tel: 075-632-1568 Fax: 075-631-4703

[https:// www.plascoat.co.jp](https://www.plascoat.co.jp)

## ミスト吸入の危険性とリスク回避について

本製品はフッ素樹脂系製品に該当いたします。フッ素樹脂の特徴のひとつとして撥水・撥油効果に優れている点がありますが、一方で、この性能に起因し、取り扱いにおいて特に注意すべき事項がございます。

以下の事例で示されます様に一般的に撥水性のフッ素樹脂を含む微細なミスト(※)を吸入することにより、喘息や呼吸困難等の症状が起こることが知られています。

※ミスト：噴霧粒子、ガス（通常空気）の中に浮遊する物質または混合物の液滴

つきましては、以下①、②の内容をご確認いただき、③の『使用上の注意』を厳守してご使用いただきますようお願い申し上げます。

### 記

#### ① 過去の事例

撥水・防水スプレーで、1992年末から1994年にかけて、呼吸困難、咳などの呼吸器系中毒症状を主訴とした急性中毒事故が多発しました。厚生労働省を中心に原因究明が進められ、溶剤による頭痛、めまい等の神経系中毒症状とともに、撥水性フッ素樹脂を含む噴霧粒子（ミスト）によって呼吸困難、咳等の呼吸器系症状が引き起こされたことが明らかになりました。

当該物質は高分子化合物であり、一般的には低懸念物質です。この事例は、スプレー化したことに大きな原因がありました。撥水性のある樹脂をスプレーする事により当該物質を口または鼻から吸入し、肺に到達、呼吸器系の中毒症状が発症しています。

#### ② 噴霧粒子サイズの影響について

スプレー化によりミストが発生します。ミスト粒子の径が小さくなるほど、大気中に長時間浮遊することとなり、吸入する危険性が高くなります。また、一般に粒子径が10ミクロンより小さい場合、肺の末端にある肺胞にまで入り込んでしまうといわれています。肺胞に入り込んだ撥水剤樹脂が肺胞のガス交換を阻害し正常な機能を失わせていると考えられています。

#### ③ 「使用上の注意」

1. SDS、「取扱上の注意」をよく読んで、記載内容を理解してご使用ください。
2. スプレー加工は避け、浸漬、はけ塗り等のミストの発生し難い方法でご使用ください。  
スプレーをご使用の場合は防毒マスク、保護メガネ、保護衣を着用の事。
3. 取扱いの際は局所排気装置及び防毒マスクを必ず使用してください。
4. 作業者にミスト吸入の危険性について周知してください。

以上